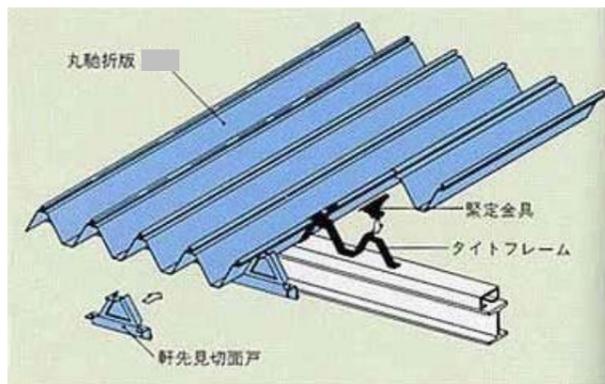
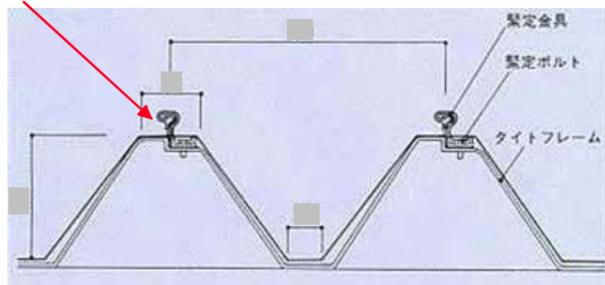




折板-(1)はぜ締めタイプ

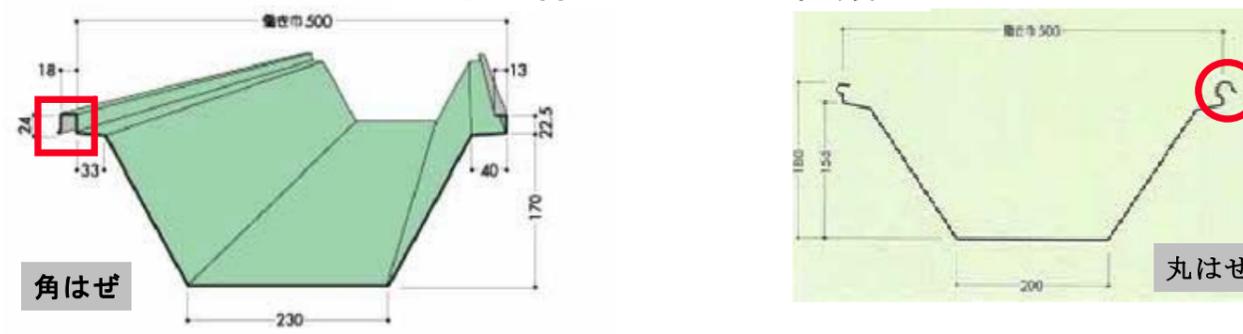
タイトフレーム（梁の上に溶接で固定）の上に取り付けた緊定金具を2枚の金属屋根材の端部で挟み、電動シーマー（締め機）で巻き込んで締めますので防水性に優れています。屋根葺き施工が屋根上からだけで行えることと、ボルトが不要になったためコストが下がり経済的な工法です。

はぜ締め加工 働き幅寸法 (mm)

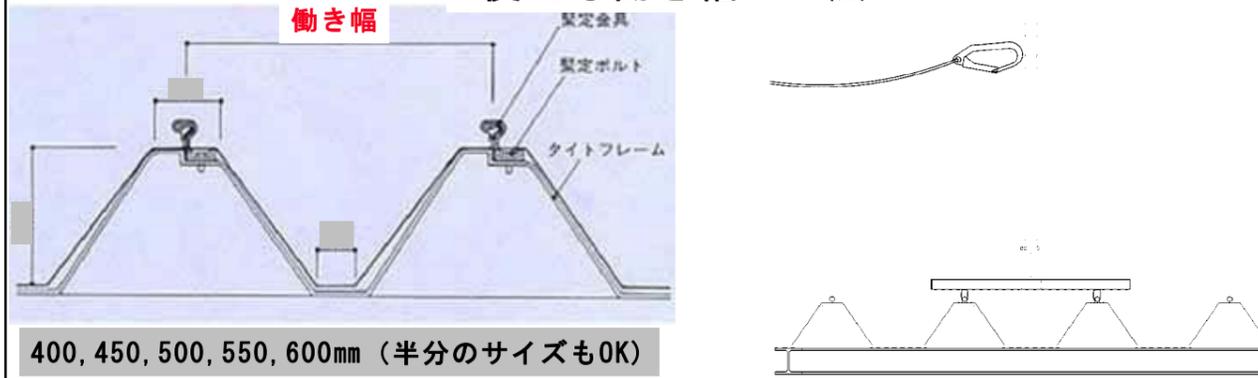


はぜ（はぜ）
はぜは、2枚の金属板の端を折り曲げ、引っ掛け合わせて継ぐ場合の折り曲げた部分の名称です。または「小はぜ」ともいいます。
はぜを利用して2枚の板を継ぐことを「はぜ継ぎ」、「小はぜ掛け」ともいいます。
はぜの漢字は「鉤」が正しいようで、「馳」は最近用いられるようになったようですが、どうも根拠はないようです。

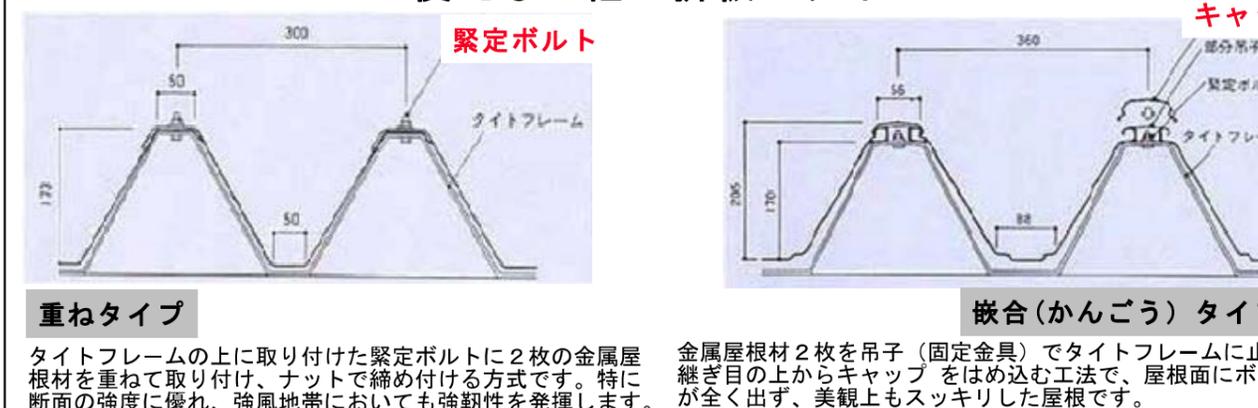
はぜ締めタイプの種類



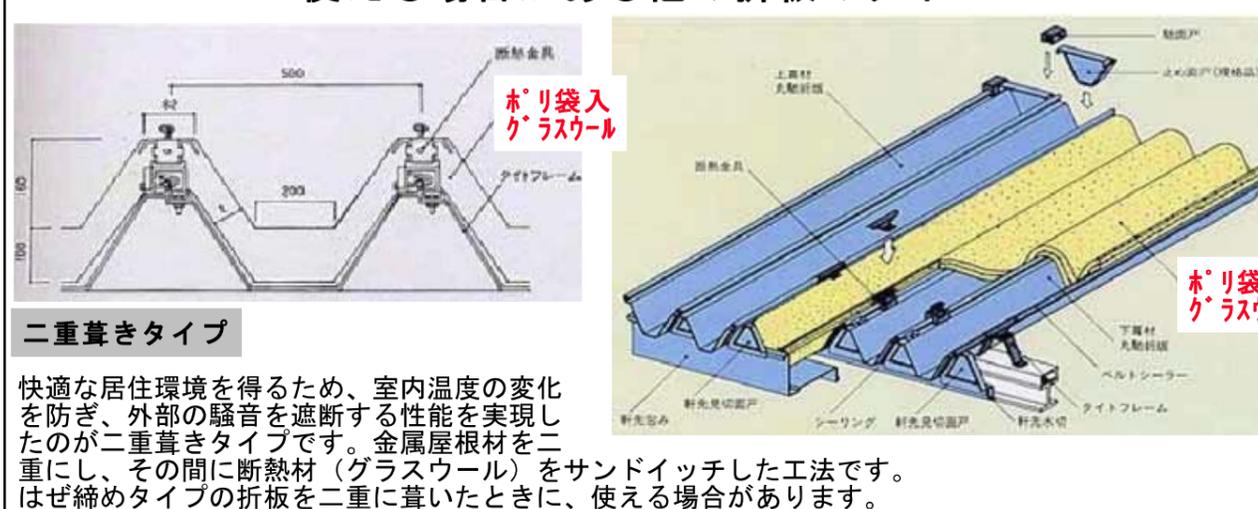
使える働き幅の寸法



使えない他の折板のタイプ



使える場合がある他の折板のタイプ



折板屋根用親綱支柱の設置手順

(解体は逆の手順でお願いします。)



①設置箇所(屋根の端から1.5m離れた位置で、それぞれ5m間隔に設置)を計測する。



②支柱ベース仮置きする。その時に、ハゼ金具のナットをインパクトレンチで緩めておく。



③ハゼ金具の口を広げて、ハゼ部に咬ませるようにセットする。(ハゼ金具4ヶ所)



④ハゼ金具のナットをインパクトレンチで締め込み固定する。(ハゼ金具4ヶ所)



⑤親綱支柱を支柱ベースの中央ソケット部に差し込む。



⑥支柱ベースソケット部と親綱支柱の穴にトグルピンで貫通させて固定する。



⑦親綱のフックを親綱支柱の上部環に掛ける。



⑧次の親綱支柱の上部環に親綱緊張器を掛けて親綱をセットする。



⑨親綱を引っ張って、概ね水平になるように緊張して完成。



